

# 市立小中学校の保護者へのアンケート調査票 (WEB アンケート)

質問は、全部で17問あります。最初から1問ずつ、順を追って質問にお答えください。

## I 小中学校の学校規模について

### 1 小中学校の望ましい学級規模について

全国的な少子化の進展に伴い、本市においても市立小中学校の児童生徒数が急速に減少しています。学校の小規模化が進んでいますが、小中学校の望ましい規模はどの程度かをお答えください。

問1. 小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいと考えますか。(1つを選択)

- 複式学級(2つ以上の学年を1つに編成した学級(参考資料4参照))でも良い
- 1学年あたり1学級が良い
- 1学年あたり2~3学級が良い
- 1学年あたり4学級以上が良い
- 意見はない
- わからない

問2. 中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいと考えますか。(1つを選択)

- 1学年あたり1学級が良い
- 1学年あたり2~3学級が良い
- 1学年あたり4~6学級が良い
- 1学年あたり7~9学級が良い
- 1学年あたり10学級以上が良い
- 意見はない
- わからない

### 2 小中学校の教育環境の改善が必要となる学級規模について

今後の児童数・生徒数が減少する中(市立小中学校の児童生徒数と35人学級数の推計を参照)で、教育環境の改善が必要となる小中学校の学年の規模はどの程度かをお答えください。

問3. 小学校において教育環境の改善が必要となる規模はどの程度だと考えますか。(1つを選択)

- 国・茨城県・稲敷市の適正規模(参考資料4参照)の範囲内の1学年2学級を下回った場合
- クラス替えができない1学年1学級となった場合
- 1学年の平均が15人を下回った場合
- 複式学級(参考資料5参照)が生じることが想定される場合
- 1学年がどんなに少なくなっても教育環境の改善は必要はない
- 意見はない
- わからない

問4. 中学校において教育環境の改善が必要となる規模はどの程度だと考えますか。(1つを選択)

- 茨城県の適正規模(参考資料4参照)の範囲内の1学年3学級を下回った場合
- 1つ以上の学年でクラス替えができない規模となった場合
- すべての学年でクラス替えができない1学年1学級となった場合
- 複式学級(参考資料5参照)が生じることが想定される場合
- 1学年がどんなに少なくなっても教育環境の改善は必要はない
- 意見はない
- わからない

## II 学校の通学条件・教育条件について

### 1 お住まいの地区の学校が現在と異なる場所に移転した場合について

あなたのお住まいの地区の学校が移転した場合に可能と考える通学距離や通学時間について、お聞かせください。

問5. 小学校に徒歩で通学する場合の通学距離<sup>※1</sup>は、最大で何kmまで可能と考えますか。(1つを選択)

- 2 km以内(30分程度)<sup>※2</sup>
- 3 km以内(45分程度)
- 4 km以内(60分程度)
- 5 km以内(75分程度)
- 5 km超過(75分超)
- 意見はない
- わからない

※1 国の通学距離の基準\*では、小学校4 km以内とされています。

※2 時間の目安: 15分/1 km

\*文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(平成27年)」より引用

問6. 中学校に自転車で通学する場合の通学距離<sup>※1</sup>は、最大で何kmまで可能と考えますか。(1つを選択)

- 4 km以内(15分程度)<sup>※2</sup>
- 5 km以内(20分程度)
- 6 km以内(25分程度)
- 7 km以内(30分程度)
- 7 km超過(30分超)
- 意見はない
- わからない

※1 国の通学距離の基準\*では、中学校6 km以内とされています。

※2 時間の目安: 4分/1 km(平均時速15 km程度)

\*文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(平成27年)」より引用

問7. 小学校スクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗降場所への移動時間を含め、最大で何分まで可能と考えますか。(1つを選択)

- 15分以内
- 30分以内
- 45分以内
- 60分以内
- 90分以内
- 90分超過
- 意見はない
- わからない

問8. 中学校スクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗降場所への移動時間を含め、最大で何分まで可能と考えますか。(1つを選択)

- 15分以内
- 30分以内
- 45分以内
- 60分以内
- 90分以内
- 120分以内
- 120分超過
- 意見はない
- わからない

## 2 小中学校の適正規模・適正配置を進めるにあたって(通学条件や教育条件)

将来にわたって児童生徒がより良い環境で学校教育を受けられるようにするために、特に重要と考えられる条件についてお答えください。

問9. 小中学校において特に重要と考える通学条件や教育条件を選んでください。(3つまで選択)

- 通学する児童生徒数や学級数
- 学校への通学距離・通学時間
- 質の高い教育内容の提供(協働的な学習・グループ学習が可能か)
- 学校施設・設備の充実(施設・運動場の大きさ・数、空調設備など)
- 通学路の安全性(歩道の整備状況)
- 学校と地域の連携の充実
- 学校の立地位置(幼保小中学校の近接性、浸水想定区域の状況など)
- その他( )
- 意見はない
- わからない

### 3 小中学校の適正規模・適正配置を進めるにあたって（学校規模と通学距離の関係）

稲敷市は市域が広いため、適正な学校規模を維持しようとするすると通学距離・学区が拡大し、通学距離を優先すると学校規模が小さくなります。学校規模と通学距離の関係についてお答えください。

問10. 一人ひとりに目が行き届く教育（小規模校）よりも、グループ学習や協働的な学習ができる適正な学校規模を満たす学校を重視すべき（1つを選択）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそうは思わない
- そうは思わない
- わからない

問11. 通学の距離基準<sup>※1</sup>を重視するよりも、適正な学校規模<sup>※2</sup>を満たす学校を重視すべき（1つを選択）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそうは思わない
- そうは思わない
- わからない

※1 通学距離の国の基準では、小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内とされている

通学時間の国の基準は、適切な交通手段が確保できたうえで、おおむね1時間以内を目安とされている

※2 適正な規模の国・茨城県・稲敷市の基準\*：小・中学校ともに12学級以上18学級以下とされている

\*国（文部科学省）「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年）」より引用

茨城県「公立小・中学校の適正規模について（指針）（平成20年）」より引用

稲敷市「稲敷市学校再編整備実施計画（平成22年）」より引用

#### 4 小規模校における特色ある取組について

自然豊かな環境に恵まれた小規模校を中心に、特色ある教育を展開して、学区外からでも入学を許可することのできる小規模特認校制度があります。このことについて、稲敷市で小規模特認校制度を導入した場合の考えをお答えください。

問12. 小規模校の良さを生かした特色ある学校運営を進めることで、指定された学区以外から児童が通うことを認める小規模特認校制度を導入した場合、お子様を通わせてみたいと思いますか。

(1つ選択)

- 通わせたいと思う
- 通わせたいとは思わない
- わからない

問13. 仮に、小規模特認校制度を導入した場合、稲敷市にとってどのような特徴をもった学校がよいと思いますか。(あてはまるものすべて選択)

- 自然や文化遺産を活用した体験を重視した教育
- 英語に力をいれた教育
- スポーツに力をいれた教育
- ICT教育に特化した教育
- トップレベルの学力を重視した教育
- その他 ( )
- 特にない・わからない

### Ⅲ あなたご自身について

あなたご自身について、年齢、お住まいの地区をお答えください。

問14. 年齢をお選びください。(1つを選択)

- ～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳～

問15. お住まいの地区の小校区(参考資料6を参照)をお選びください。(1つを選択)

- 江戸崎小学校
- 沼里小学校
- 高田小学校
- 新利根小学校
- 桜川小学校
- あずま東小学校
- あずま北小学校
- あずま西小学校
- わからない

※学区がまたがっている地区にお住まいの方はわかる範囲でご回答ください。

#### IV お子さんについて

---

お子さんが在籍する子育て・教育施設についてお答えください。

問16. お子さんが在籍する子育て・教育施設をお選びください。(当てはまるもの全て選択)

保育園・幼稚園・認定こども園

小学校

中学校

その他

#### V 稲敷市の義務教育施設（市立小中学校）について

---

問17. 最後に稲敷市の義務教育施設（市立小中学校）について、ご意見等があればお聞かせください。

質問は、以上です。ご協力ありがとうございました。